



平成25年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 メディネット

コード番号 2370 URL <http://www.medinet-inc.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 木村 佳司

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 原 大輔

TEL 045-478-0041

四半期報告書提出予定日 平成25年8月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年9月期第3四半期の連結業績(平成24年10月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年9月期第3四半期	1,561	△5.8	△659	—	△731	—	△121	—
24年9月期第3四半期	1,657	△19.2	△543	—	△539	—	△451	—

(注) 包括利益 25年9月期第3四半期 1,031百万円 (—%) 24年9月期第3四半期 △419百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年9月期第3四半期	△154.92	—
24年9月期第3四半期	△616.15	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年9月期第3四半期	13,073	11,011	84.2
24年9月期	7,313	4,922	67.3

(参考) 自己資本 25年9月期第3四半期 11,006百万円 24年9月期 4,922百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年9月期	—	0.00	—	—	—
25年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年9月期の連結業績予想(平成24年10月1日～平成25年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,400	9.5	△620	—	△620	—	△630	—	△780.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社 （社名） 、 除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 有
- ② ①以外の会計方針の変更 ： 無
- ③ 会計上の見積りの変更 ： 有
- ④ 修正再表示 ： 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものです。詳細は、【添付資料】P.3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年9月期3Q	873,331 株	24年9月期	732,755 株
② 期末自己株式数	25年9月期3Q	— 株	24年9月期	— 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年9月期3Q	785,157 株	24年9月期3Q	732,755 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社において判断したものであります。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】P.3「連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。
- ・決算補足説明資料は本日平成25年8月6日（火）に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
(5) その他	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成24年10月1日から平成25年6月30日まで）において当社グループは、前連結会計年度から引き続き、当社グループ契約医療機関の新規治療開始者数及び治療数の拡大による強固な事業基盤確立を目的として、新規契約医療機関の獲得と当社グループ契約医療機関と地域中核医療機関等との医療連携体制の構築の一層の拡大、個別化医療の実現に向けたサービス拡充に注力しております。平成24年11月には抗体医薬品との併用による相乗効果が期待される「NK細胞療法」技術を当社グループ契約医療機関に対して提供を開始いたしました。しかしながら、全体としては既存契約医療機関に対する免疫細胞療法総合支援サービス売上は前第3四半期連結累計期間に比べて若干減少しており、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,561,689千円（前年同期比95,325千円減、5.8%減）となりました。

研究開発活動については、再生・細胞医療の産業化が国家戦略として取り上げられ、新たな規制や法的枠組みが整備される環境変化を捉え、規制上の承認（RA: Regulatory Approval）を獲得し、将来的な細胞医療製品の開発を目指すことを目的とした治療効果向上と臨床エビデンスの構築を推進するための研究開発を推進しております。当第3四半期連結累計期間では、平成24年11月に、平成21年10月より進めてきたナノキャリア株式会社との共同研究である、「樹状細胞ワクチン療法」^[i]とT細胞を活性化する作用を有する「インターロイキン-2（IL-2）」を内包する「ミセル化ナノ粒子」との併用効果についての研究において、当併用治療法がマウスのがんモデルに対して、樹状細胞ワクチン療法と従来のIL-2溶液の併用に比べて、がんを特異的に攻撃する細胞傷害性T細胞（CTL）^[ii]の誘導を著しく高め、抗がん作用も大幅に増強するという研究結果が得られました。その他の研究開発活動を合わせ、当第3四半期連結累計期間の研究開発費は、前第3四半期連結累計期間に比べて11,541千円（3.0%）増加しております。なお、これまでの研究開発活動の成果の一環として、当第3四半期連結累計期間において以下の特許が成立しております。

- 平成24年10月、樹状細胞を用いて細胞傷害性T細胞（CTL）の誘導を高める処理方法に関して、既に特許が成立している欧州11カ国に加えてオーストラリアにおいても特許が成立いたしました。
- 平成24年11月、HSP105^[iii]抗原ペプチドに関して、既に特許が成立している欧州11カ国に加えて日本においても特許が成立いたしました。
- 平成25年1月、樹状細胞、該樹状細胞を含む医薬、該樹状細胞を用いた治療方法およびγδT細胞の培養方法に関して、既に特許が成立している欧州11カ国とオーストラリアに加えて日本及び韓国においても特許が成立いたしました。

営業活動としては、医師・医療機関をターゲットとした学術営業活動を推進しておりますが、一般向けの広報活動については、広報企画のより一層の効率化を図っており、当第3四半期連結累計期間の販売費については、前第3四半期連結累計期間に比べて49,283千円（14.5%）減少しております。また、一般管理費については、基幹システム等の保守費用や外形標準課税による租税公課の増加等により、前第3四半期連結累計期間と比べて23,141千円（3.3%）増加しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の販売費及び一般管理費は1,413,144千円（前年同期比14,599千円減、1.0%減）となり、営業損失は659,312千円（前年同期は営業損失543,685千円）となりました。

その他、外貨建て投資有価証券の円換算等による為替差益69,989千円が発生しましたが、一方で投資事業組合運用損121,833千円等の営業外損益により、当第3四半期連結累計期間の経常損失は731,665千円（前年同期は経常損失539,187千円）となりました。

また、保有資産の効率化を図るために保有する有価証券を売却したことによる投資有価証券売却益618,307千円、法人税、住民税及び事業税7,075千円等により、四半期純損失は121,633千円（前年同期は四半期純損失451,484千円）となりました。

[i] 樹状細胞ワクチン療法

樹状細胞は、がん細胞に由来するたんぱく質を貪食し、それをがん抗原としてTリンパ球に提示することにより、がん細胞を特異的に攻撃する細胞傷害性T細胞（CTL）を誘導する。樹状細胞ワクチン療法は、この働きを利用した免疫細胞治療の一種で、患者体内でCTLを誘導し、がん細胞を特異的に攻撃させようとする治療技術である。

[ii] 細胞傷害性T細胞（CTL）

CTLとはCytotoxic T Lymphocyte（細胞傷害性Tリンパ球）の略。Tリンパ球の一種で宿主にとって異物になる細胞（がん細胞・ウイルス感染細胞・移植細胞など）を認識して殺傷する。

[iii]HSP105

HSP105(Heat Shock Protein 105)は、熱などの何らの要因によって体内で生産されるストレスタンパク質に分類される。大腸がん、膵がん、乳がん、食道がん等の多くの症例で高発現するタンパク質で、正常では精巣に高発現している。HSP105が高発現していることが確認された場合、HSP105抗原ペプチドを用いることにより、抗原特異的な免疫治療が可能となる。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて5,759,484千円増加し、13,073,337千円となりました。流動資産は8,597,709千円と前連結会計年度末に比べ4,202,487千円増加しており、主な要因は現金及び預金の減少33,721千円、有価証券の増加4,299,929千円です。固定資産は4,475,627千円と前連結会計年度末に比べ1,556,996千円増加しており、主な要因は投資有価証券の増加1,678,892千円、長期貸付金の減少54,200千円及び長期前払費用の減少60,162千円によるものです。

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べて329,908千円減少し、2,061,894千円となりました。そのうち流動負債は1,229,435千円で前連結会計年度末に比べて30,546千円増加しております。主な要因は資産除去債務の増加25,035千円、流動負債のその他に含まれる未払費用の増加7,859千円、同じく預り金の増加15,655千円及び賞与引当金の減少19,333千円です。固定負債は、前連結会計年度末に比べて360,454千円減少し、832,458千円となりました。主な要因は新株予約権付社債の減少1,000,000千円及び固定負債のその他に含まれる繰延税金負債の増加630,812千円です。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、四半期純損失121,633千円、新株予約権の行使による資本金及び資本準備金の増加5,052,550千円、その他有価証券評価差額金の増加1,153,297千円等により前連結会計年度末に比べて6,089,392千円増加し、11,011,442千円となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の67.3%から84.2%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループは、当社グループ契約医療機関の新規治療開始者数及び治療数の拡大による強固な事業基盤確立を目的として、大学病院をはじめとした地域中核医療機関等との新しい取り組みを推進し、新規契約医療機関の獲得と当社グループ契約医療機関と地域中核医療機関等との医療連携体制の構築の一層の拡大に注力してまいります。

また、再生・細胞医療の産業化が国家戦略として取り上げられ、新たな規制や法的枠組みが整備される環境変化を捉え、規制上の承認(RA: Regulatory Approval)を獲得し、将来的な細胞医療製品の開発を目指すことを目的とした、治療効果向上と臨床エビデンスの構築を推進するための研究開発活動の強化を図ってまいります。

なお、連結業績予想は平成24年11月6日に公表した数値に変更はありません。当第3四半期連結累計期間において特別利益に計上した投資有価証券売却益618,307千円により当期純利益の変動が見込まれますが、連結業績予想の修正については、連結業績に影響を与える見積りや将来予測等、他の変動要因を含め精査しており、見通しが固まり、修正が必要と判断した場合には速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(減価償却方法の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年10月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる、当第3四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年 9 月 30 日)	当第 3 四半期連結会計期間 (平成25年 6 月 30 日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1, 521, 580	1, 487, 858
売掛金	377, 529	370, 285
有価証券	2, 099, 943	6, 399, 872
原材料及び貯蔵品	131, 584	117, 837
その他	264, 583	221, 854
流動資産合計	4, 395, 222	8, 597, 709
固定資産		
有形固定資産	488, 939	454, 407
無形固定資産	249, 806	255, 385
投資その他の資産		
投資有価証券	617, 478	2, 296, 371
長期貸付金	705, 447	651, 247
長期前払費用	730, 516	670, 353
その他	126, 443	147, 861
投資その他の資産合計	2, 179, 885	3, 765, 834
固定資産合計	2, 918, 630	4, 475, 627
資産合計	7, 313, 852	13, 073, 337
負債の部		
流動負債		
買掛金	119, 886	117, 615
短期借入金	800, 000	800, 000
未払法人税等	19, 977	22, 436
賞与引当金	59, 124	39, 790
資産除去債務	—	25, 035
その他	199, 901	224, 558
流動負債合計	1, 198, 889	1, 229, 435
固定負債		
新株予約権付社債	1, 000, 000	—
資産除去債務	78, 308	69, 415
その他	114, 604	763, 043
固定負債合計	1, 192, 913	832, 458
負債合計	2, 391, 802	2, 061, 894
純資産の部		
株主資本		
資本金	3, 631, 011	6, 157, 286
資本剰余金	5, 043, 571	7, 569, 846
利益剰余金	△3, 869, 920	△3, 991, 553
株主資本合計	4, 804, 662	9, 735, 579
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	117, 387	1, 270, 684
その他の包括利益累計額合計	117, 387	1, 270, 684
新株予約権	—	5, 178
純資産合計	4, 922, 049	11, 011, 442
負債純資産合計	7, 313, 852	13, 073, 337

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成25年6月30日)
売上高	1,657,015	1,561,689
売上原価	772,956	807,858
売上総利益	884,059	753,831
販売費及び一般管理費	1,427,744	1,413,144
営業損失(△)	△543,685	△659,312
営業外収益		
受取利息	14,043	15,280
為替差益	14,634	69,989
設備賃貸料	1,856	2,794
その他	5,517	2,017
営業外収益合計	36,051	90,082
営業外費用		
支払利息	4,985	5,111
投資事業組合運用損	24,746	121,833
その他	1,821	35,490
営業外費用合計	31,553	162,435
経常損失(△)	△539,187	△731,665
特別利益		
投資有価証券売却益	118,502	618,307
特別利益合計	118,502	618,307
特別損失		
固定資産除却損	2,826	2,549
減損損失	10,164	5,373
投資有価証券評価損	10,000	—
特別損失合計	22,991	7,923
税金等調整前四半期純損失(△)	△443,676	△121,281
法人税、住民税及び事業税	10,871	7,075
法人税等調整額	△3,063	△6,724
法人税等合計	7,808	351
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△451,484	△121,633
四半期純損失(△)	△451,484	△121,633

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△451,484	△121,633
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	31,706	1,153,297
その他の包括利益合計	31,706	1,153,297
四半期包括利益	△419,777	1,031,664
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△419,777	1,031,664
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社が平成22年4月に発行した第1回無担保転換社債型新株予約権付社債は、新株予約権の行使によりその全てが平成25年1月に株式へ転換されました。この結果、第2四半期連結会計期間において資本金が500,000千円、資本剰余金が500,000千円増加しております。また、当社が平成25年3月に発行した第4回新株予約権、第5回新株予約権及び第6回新株予約権は、平成25年4月から平成25年5月までにその全ての権利行使がなされました。この結果、当第3四半期連結会計期間において資本金が2,026,275千円、資本剰余金が2,026,275千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が6,157,286千円、資本剰余金が7,569,846千円となっております。

(5) その他

(1) 役員の異動

平成25年7月25日公表の「代表取締役の異動に関するお知らせ」をご参照ください。

(2) その他

該当事項はありません。